資料３

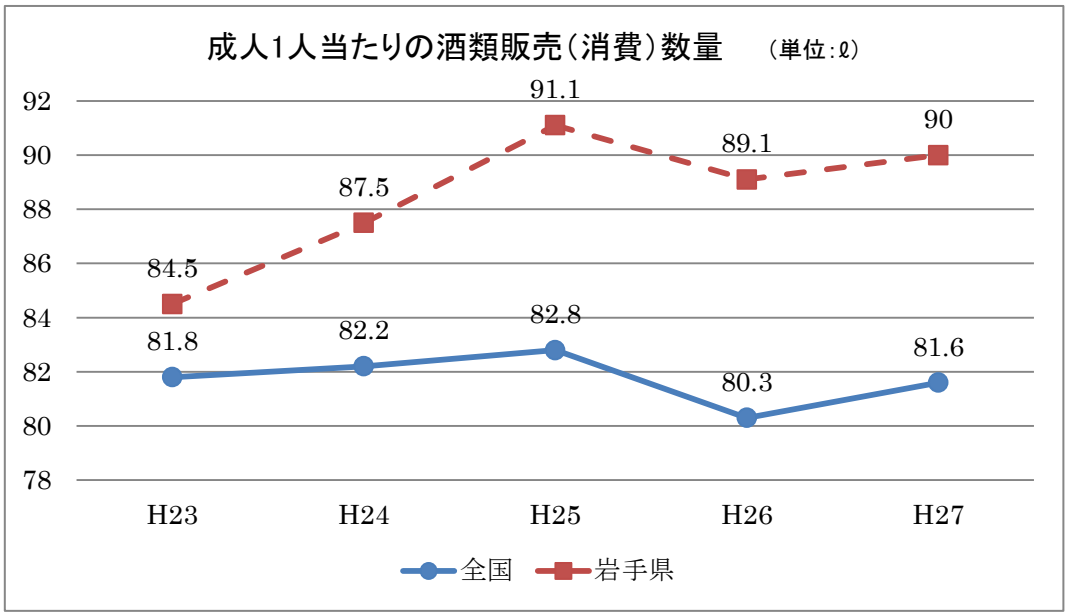
本県のアルコール健康障害をめぐる現状

１　飲酒の状況

（１）　酒類販売（消費）数量

○　本県における平成 23（2011）年～27（2015）年の成人１人当たりの酒類販売（消費）数量は、毎年約 90 リットルとなっており、全国平均を上回っています。

○　酒類の種類別に見ると、本県では「連続式蒸留焼酎」が全国平均の約 1.6 倍、「清酒」が約 1.3 倍、リキュールが約 1.2 倍の販売（消費）数量となっています。



平成 27（2015）年度成人１人当たりの酒類販売（消費）数量（種類別）　（単位：ℓ）

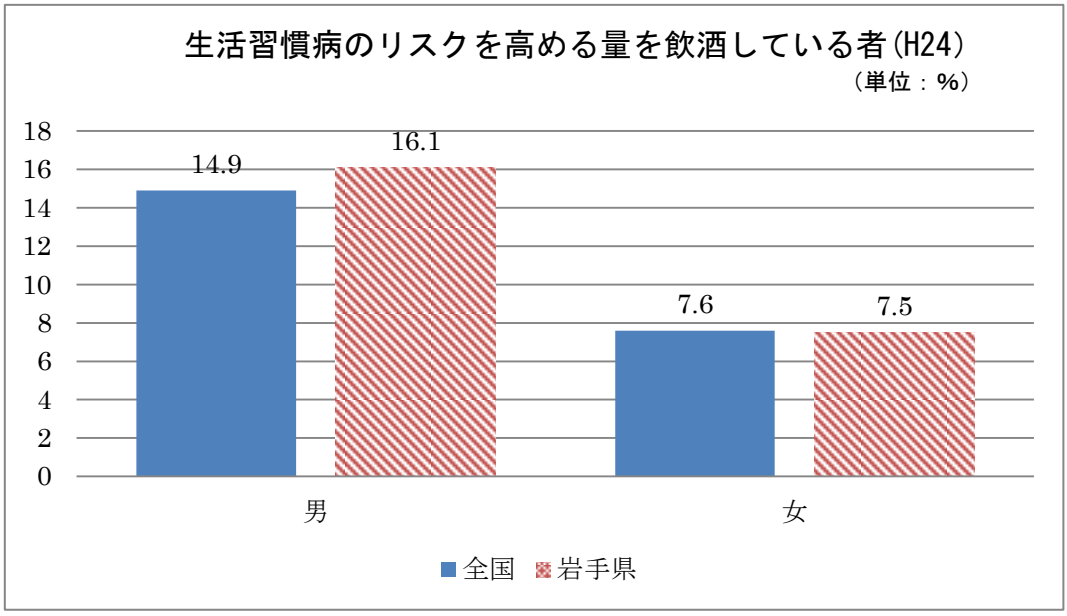
	清酒	合成清酒	連続式蒸留焼酎	単式蒸留焼酎	みりん	ビール	果実酒	甘味果実酒
全国	5.4	0.3	3.8	4.5	1.0	25.7	3.6	0.1
岩手県	6.9	0.4	6.0	3.8	0.7	26.6	2.6	0.0

	ウイスキー	ブランデー	発泡酒	スピリッツ等	リキュール	その他の醸造酒等	合計
全国	1.3	0.1	7.2	3.4	19.6	5.7	81.6
岩手県	1.3	0.0	7.7	3.9	23.9	6.2	90.0

出典：国税庁「酒税」より障がい保健福祉課作成

（２）　生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者

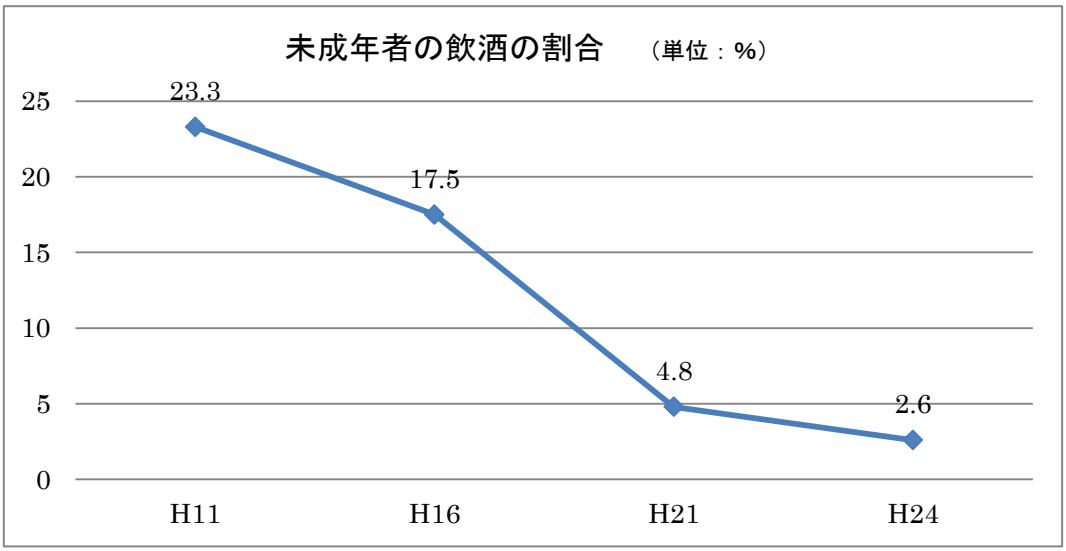
○　生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者[1]の割合は、男性は 16.1%と全国（男性 14.9%）より高く、女性は 7.5%と全国（女性 7.6%）とほぼ同じくなっています。



出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」、岩手県「県民生活習慣実態調査」

（３）　未成年者の飲酒の割合

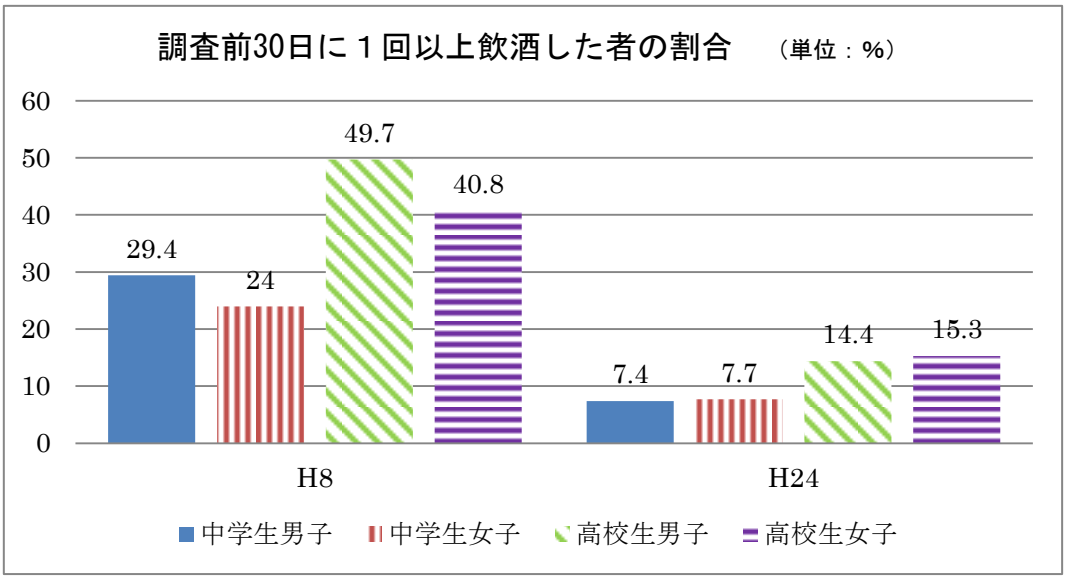
○　未成年者の飲酒は年々低下傾向にありますが、平成 24（2012）年度調査ではまだ 2.6%の未成年者が飲酒している状況にあります。



出典：岩手県「県民生活習慣実態調査」

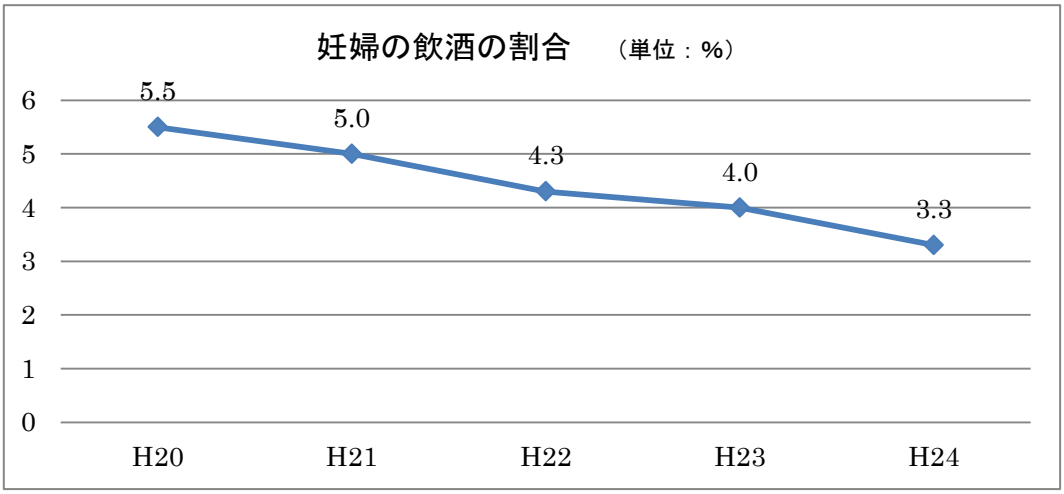
[1]　１日当たりの純アルコール摂取量が男性 40g 以上、女性 20g 以上の者。

○　未成年の飲酒実態を把握するための全国調査[2]によれば、調査前 30 日に１回以上飲酒した者の割合は、平成 24 (2012) 年には中学生男子 7.4%、中学生女子 7.7%、高校生男子 14.4%、高校生女子 15.3%と、平成８（1996）年の調査結果と比較して大きく減少し、また、男女間でほぼ差がなくなっています。



（４）　妊婦の飲酒の割合

○　妊婦の飲酒の割合は年々低下傾向にあり、全国（H22:8.7%）より低い状況ですが、平成 24（2012）年度調査ではまだ 3.3%の妊婦が飲酒している状況にあります。



出典：いわて健康データウェアハウス

2　厚生労働科学研究「未成年者の飲酒行動に関する全国調査 1996 年度報告書」（研究代表者：箕輪眞澄）及び厚生労働科学研究「未成年者の健康課題及び生活習慣に関する実態調査研究　2012 年度報告書」（研究代表者：大井田隆）

２　アルコールによる健康障害

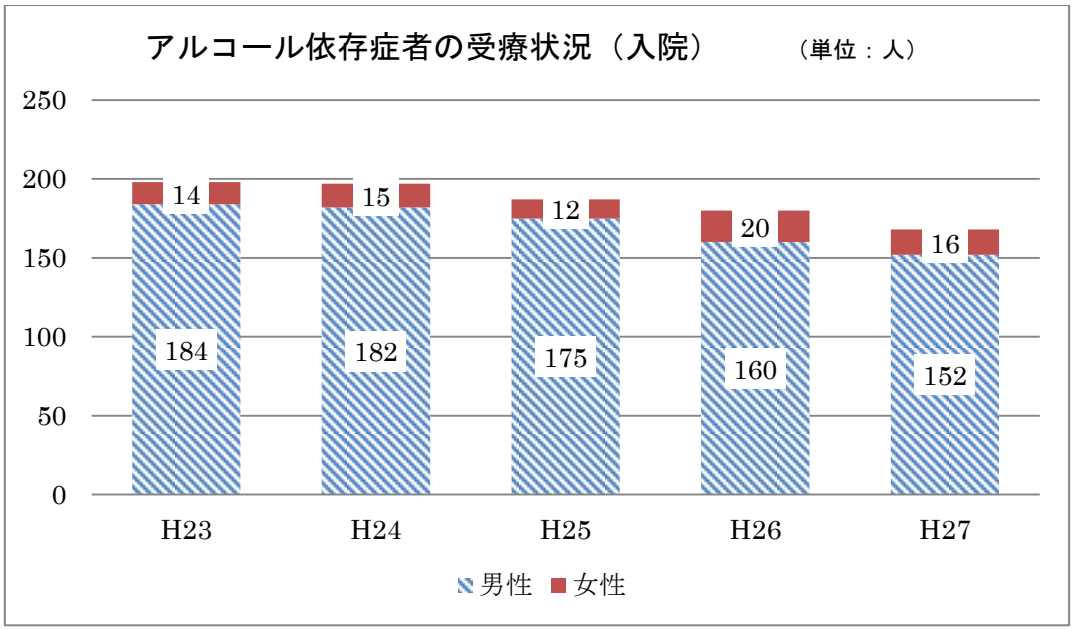
（１）　アルコール依存症の生涯経験者数

○　成人の飲酒行動に関する調査[3]では、アルコール依存症の経験者の平成 24（2012）年人口における推計数は 109 万人との報告があります。この結果に、本県の平成 24（2012）年の成人人口を当てはめた場合、本県のアルコール依存症の生涯経験者は約 1.1 万人[4]と推計されます。

○　また、同調査において、現在アルコール依存症の基準に当てはまる人の推計数は 58 万人と報告されています。この結果に本県の平成 24（2012）年の成人人口を当てはめた場合、約 0.59 万人[5]と推計されます。

（２）　アルコール依存症者の受療状況

○　本県におけるアルコール依存症者の受療状況については、入院者数が約 200 人、通院者数が約 400 人となっています。これは、現在アルコール依存症の基準に当てはまる人の推計数約 0.59 万人のおよそ 1 割であり、多くの者がアルコール依存症の治療につながっていないことが推測されます。



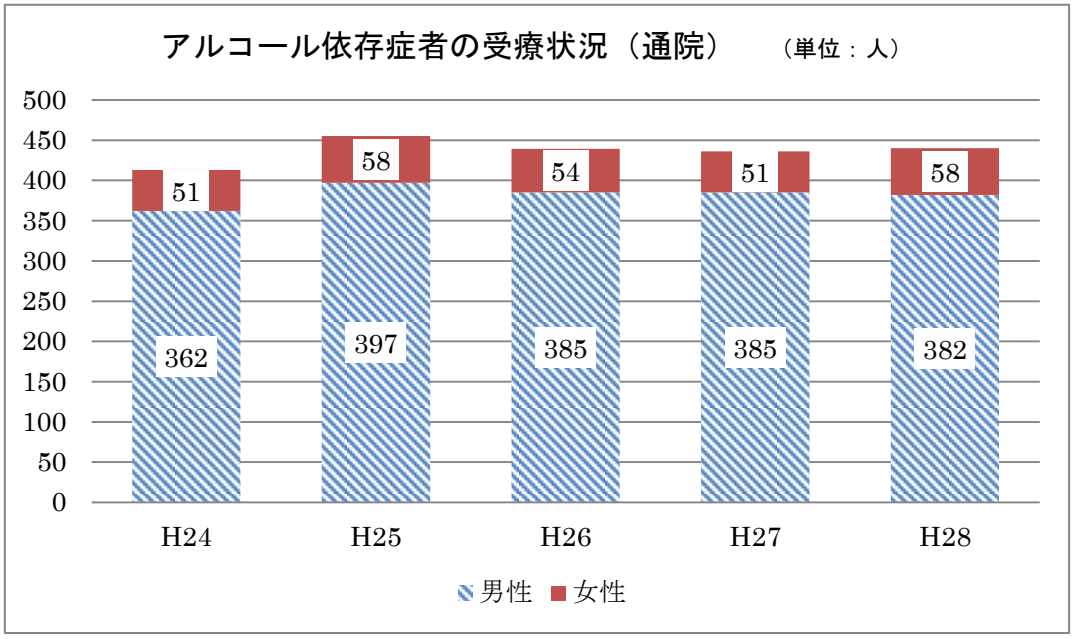
※　精神科病院の入院患者のうち、「アルコール使用による精神及び行動の障害」に分類されている者の数（基準日：毎年 6 月 30 日）

出典：精神保健福祉資料調査、H27 は暫定値

3　厚生労働科学研究「WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究」（研究代表者：樋口進、2013）

4　日本人口（20 歳以上、104,917 千人）に占める岩手県人口（20 歳以上、1,077 千人）の割合（1.03%）×アルコール依存症の経験者の日本人口における推計数（109 万人）で算出。

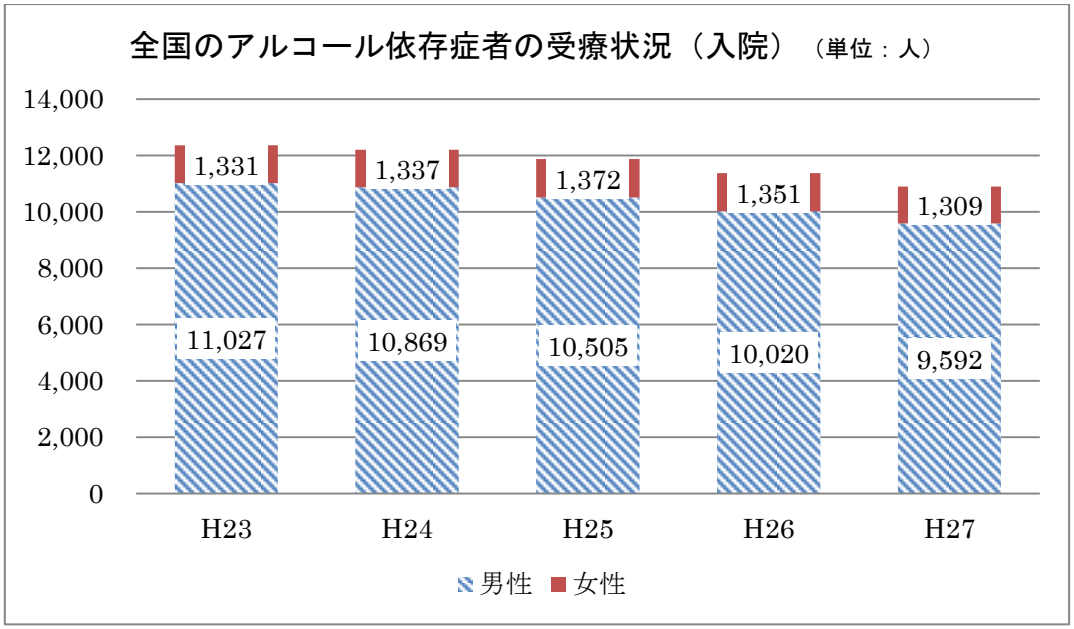
5　日本人口（20 歳以上、104,917 千人）に占める岩手県人口（20 歳以上、1,077 千人）の割合（1.03%）×現在アルコール依存症の基準に当てはまる人の日本人口における推計数（58 万人）で算出。



※　自立支援医療（精神通院医療）受給者のうち、「アルコール使用による精神及び行動の障害」に分類されている者の数（基準日：毎年度末）

出典：障がい保健福祉課調べ

○　全国のアルコール依存症による入院者数は約１万１千人となっています。



※　精神科病院の入院患者のうち、「アルコール使用による精神及び行動の障害」に分類されている者の数（基準日：毎年６月 30 日）

出典：精神保健福祉資料調査、H27 は暫定値

３　アルコールによる社会的影響

（１）　飲酒による補導

○　平成 28（2016）年中に補導された不良行為少年のうち、飲酒による補導は 97 人で、全体の 3.4%となっています。

不良行為少年補導人数

年	H24	H25	H26	H27	H28
総数	3,389	3,048	3,739	3,516	2,820
うち飲酒	199	163	141	179	97
構成比	5.9%	5.4 %	3.8%	4.7%	3.4%

出典：岩手県警察本部少年課調べ

（２）　泥酔者（酩酊者）保護の状況

○　飲酒の結果、身体運動機能や認知機能が低下することによる、さまざまな事故との関連が指摘されています。

○　平成 28（2016）年の「警察官職務執行法」に基づく泥酔者保護件数と、「酒に酔つて公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律」に基づく酩酊者保護件数の合計は、926 件でした。

泥酔者（酩酊者）保護件数

年	H24	H25	H26	H27	H28
総数	1,182	1,178	1,122	1,087	926

出典：岩手県警察本部生活安全企画課調べ

（３）　飲酒運転の状況

○　平成 28（2016）年の飲酒運転検挙者数は 289 人、飲酒運転による交通事故（人身事故）件数は 25 件でした。

飲酒運転検挙者数

年	H24	H25	H26	H27	H28
検挙者数	448	382	316	410	289

出典：岩手県警察本部交通企画課調べ

飲酒運転による交通事故（人身事故）

年	H24	H25	H26	H27	H28
件数	42	31	28	21	25
死者数	2	5	1	2	2

出典：岩手県警察本部交通企画課調べ

（４）　配偶者暴力・児童虐待・自殺の状況

○　アルコールは心身への影響のみならず、多くの社会問題との関連が指摘されています。例えば、アルコール依存症は自殺の危険因子の一つであることや、飲酒の結果、理性の働きが抑えられること等による暴力との関係が指摘されています。

○　県内の配偶者暴力相談支援センターにおける DV 相談件数は年間約 2,000 件前後、警察署における DV 相談件数は 400 件前後となっています。

配偶者暴力相談支援センターにおける DV 相談件数

年度	H24	H25	H26	H27	H28
全国	89,490	99,961	102,963	111,630	―
岩手県	1,504	1,639	1,504	2,378	1,865

出典：県は環境生活部若者女性協働推進室まとめ、全国は内閣府まとめ

警察署における DV 相談件数

年	H24	H25	H26	H27	H28
全国	43,950	49,553	59,072	63,141	69,908
岩手県	298	368	414	415	433

出典：県は岩手県警察本部まとめ、全国は警察庁まとめ。暦年の調査

○　平成 27（2015）年度の県内の児童相談所での児童虐待相談対応件数は 589 件で、前年度の約 1.5 倍に増加しました。

児童虐待相談対応件数

年度	H23	H24	H25	H26	H27
全国	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286
岩手県	392	376	363	390	589

出典：福祉行政報告例第 49 表

○　平成 28（2016）年度の本県の自殺者数は 288 人で、前年度と比較して 9 人減少しましたが、人口 10 万人当たりの自殺死亡率は 22.8 で全国ワースト２位となっています。

自殺者数及び自殺死亡率

年度		H24	H25	H26	H27	H28
自殺者数	全国	26,433	26,063	24,417	23,152	20,984
	岩手県	329	340	341	297	288
自殺死亡率	全国	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8
	岩手県	25.3	26.4	26.6	23.3	22.8

出典：厚生労働省「人口動態統計」

４　アルコール健康障害に係る相談・支援状況

（１）　アルコール関連相談状況

○　県内の保健所（盛岡市保健所を含む）では、アルコールに関する精神保健相談に対応しており、平成 27（2015）年度の相談件数は 166 件となっています。

保健所におけるアルコールに関する精神保健相談件数

年度		H23	H24	H25	H26	H27
所内相談	面接	86	61	76	52	42
	電話	101	185	136	163	119
所外相談	面接	10	5	13	25	5
計		197	251	225	240	166

出典：保健福祉部障がい保健福祉課調べ、件数は延べ件数

○　精神保健福祉センターにおいても、アルコールに関する精神保健相談に対応しており、平成 27（2015）年度の相談件数は 208 件となっています。

精神保健福祉センターにおけるアルコールに関する精神保健相談件数

年度	H23	H24	H25	H26	H27
来所相談	2	62	63	99	108
電話相談	79	77	88	148	100
計	81	139	151	247	208

出典：保健福祉部障がい保健福祉課調べ、件数は延べ件数

○　また、精神保健福祉センターでは、断酒会員が相談対応を行う「断酒会によるアルコール相談」を県内 2 カ所でそれぞれ月 1 回ずつ実施しており、平成 28（2016）年度の相談件数は 42 件となっています。

断酒会によるアルコール相談件数

年度	H24	H25	H26	H27	H28
面接相談	69	69	64	36	42

出典：保健福祉部障がい保健福祉課調べ、件数は延べ件数

（２）　アルコール依存症の回復者による自助グループの状況

○　岩手県内には、断酒会や AA グループがあり、当事者が断酒を続けるための例会やミーティングの開催、アルコール関連問題や自助グループの活動の活動を広く

県民に周知するための啓発活動等を行っています。

県内で活動している主なアルコール依存症の回復者による自助グループ

団体名	主な活動等
岩手県断酒連合会	断酒例会、研修会、会報発行、啓発活動
AA（アルコホーリクス・アノニマス）	ミーティング

５　アルコール健康障害に係る医療提供体制

（１）　アルコール依存症に対応できる医療機関

○　県内のアルコール依存症に対応できる医療機関は、「いわて医療ネット」によると 56 か所あり、精神科病院以外にも、総合病院や地域の一般診療所等があります。

○　アルコール依存症の専門外来がある医療機関は、「いわて医療ネット」によると４か所となっています。

アルコール依存症に対応できる医療機関（平成 29（2017）年 5 月現在）

２次医療圏	盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	合計
精神科病院	8	4	1	1	2	1	2	1	1	21
その他の病院	3	0	1	0	0	0	0	1	2	7
診療所	13	6	3	5	0	0	1	0	0	28
計	24	10	5	6	2	1	3	2	3	56
うち専門外来あり	1	0	0	1	0	0	0	1	1	4

出典：いわて医療ネット

【参考】

アルコール健康障害対策推進計画掲載データ

番号	データ名	掲載計画	出典	資料3への掲載
1	成人一人当たりの酒類の販売（消費）量	国、愛知県、山口県	国税庁「酒税」	○
2	月に1日以上の頻度で飲酒する者の割合	国	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	
3	飲酒習慣のある者（週3回以上、1日1合以上飲酒する者）の割合	国、山口県、徳島県	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	
4	多量飲酒者（1日平均純アルコール約60gを越えて摂取する人）の割合	国、京都府、鳥取県、山口県、徳島県	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	
5	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合	国、愛知県、京都府、鳥取県、山口県、徳島県	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	○
6	調査前30日に1回以上飲酒した者の割合 （未成年者（16～19歳）の飲酒している者の割合）	国、愛知県、鳥取県、徳島県、	厚生労働科学研究「未成年者の飲酒行動に関する全国調査1996年度報告書」 厚生労働科学研究「未成年者の健康課題及び生活習慣に関する実態調査研究2012年度報告書」	○
7	飲酒の頻度（毎日、週5～6回、週3～4回、週1～2回、月1～2回、以前飲んでいたが辞めた、ほとんど飲まない、無回答）	愛知県、徳島県	愛知県生活習慣関連調査、徳島県県民健康栄養調査	
8	妊娠中の者の飲酒割合	愛知県、三重県、徳島県	母子保健報告（愛知県、三重県） 全国：平成22年厚生労働省「乳幼身体発育調査」（10年毎に調査）	○
9	飲酒量の比較（飲酒習慣あり、飲酒習慣なし）	徳島県	徳島県「県民健康栄養調査」（平成22年）	
10	アルコール性肝疾患の総患者数	国	厚生労働省「患者調査」	
11	アルコール性肝硬変の総患者数	国	厚生労働省「患者調査」	
12	アルコール性肝疾患の死亡数	国、愛知県	厚生労働省「人口動態統計」	
13	アルコール依存症の総患者数	国	厚生労働省「患者調査」	
14	アルコール依存症の生涯経験者	国、愛知県、三重県、京都府、鳥取県、山口県	厚生労働科学研究「WHO世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究」（2013）	○
15	アルコール依存症を現在有する者 　うち、「アルコール依存症の専門治療を受けたことがある」と回答した者	国	厚生労働科学研究「WHO世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究」（2013）	○
16	アルコール依存症者の受療状況（入院患者数）	愛知県、三重県、鳥取県、徳島県	精神保健福祉資料調査（630調査）	○
17	アルコール依存症者の受療状況（通院患者数）	愛知県、三重県、鳥取県、徳島県	各県調べ「自立支援医療（精神通院医療）受給者のうち、アルコール使用による精神及び行動の障害に分類されている者の人数」	○
18	運転免許取消処分者講習受講者を対象とした調査で、飲酒運転で検挙された者のうちアルコール依存症の疑いがあった者	国	（独）国立病院機構久里浜アルコール症センター、神奈川県警「飲酒と運転に関する調査結果報告書」（2008）	
19	DV防止法の保護命令違反者を対象に行われた研究で、飲酒に関する問題を有していた者	国	法務総合研究所研究部報告「配偶者暴力及び児童虐待に関する総合的研究」（2008）	
20	受刑者を対象に行われた研究で、調査対象受刑者に占める多量飲酒者（日本酒換算3合以上をほぼ毎日）の割合	国	法務総合研究所研究部報告「飲酒（アルコール）の問題を有する犯罪者の処遇に関する総合的研究」（2011）	
21	自助グループに属する家族に対する調査で、アルコールの問題を抱えてから生活や経済的困難に直面した者の割合	国	障害者保健福祉推進事業（2008）	
22	自助グループに属する家族に対する調査で、アルコールの問題を抱えてから家族が自ら精神的又は身体的問題を抱えるようになった割合	国	障害者保健福祉推進事業（2008）	
23	飲酒死亡事故状況	愛知県、三重	愛知県警察本部、警察庁	○
24	東京消防庁における平成26年度中の急性アルコール中毒搬送人員（年代別、性別）	愛知県	東京消防庁調べ	
25	飲酒運転による検挙者等	愛知県	愛知県警察本部、警察庁（違反別取り締まり件数のうち、酒酔い・酒気帯び運転違反件数）	○
26	泥酔者（酩酊者）の保護件数	―	―	○
27	飲酒による補導件数	―	―	○
28	高齢者虐待の発生要因（複数回答）	愛知県	認知症介護研究・研修仙台センター「高齢者虐待の要因分析と地方自治体の施策促進に関する調査研究事業（高齢者虐待対応の実態と施策推進のポイント）」（平成26年度）	
29	指定医療機関に受診した飲酒運転違反者の診断名内訳	三重県	三重県調査	
30	DV相談対応件数の推移	三重県	三重県［女性相談所統計」	○
31	児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移	三重県	三重県「子どもを虐待から守る条例第28条に基づく年次報告書」	○
32	自殺者数の推移	三重県	厚生労働省「人口動態統計」	○
33	保健所・精神保健福祉センターの相談状況（延べ件数）	愛知県、徳島県	保健所　地域保健・健康増進事業報告 センター　衛生行政報告例	○
34	主なアルコール依存症の回復者による自助グループ、回復支援施設等	愛知県	こころの健康推進室調べ	○
35	酒害相談員の活動状況	徳島県	徳島県調べ	○
36	アルコール依存症に対応できる医療機関	愛知県	あいち医療情報ネット	○
37	アルコール依存症について知っているもの	愛知県	内閣府「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」（2016）	
38	相談できる場所として知っているもの	愛知県	内閣府「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」（2016）	
39	居住地域において具体的に知っている相談場所	愛知県	内閣府「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」（2016）	
40	あなたや家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談するか	愛知県	内閣府「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」（2016）	
41	相談しない理由	愛知県	内閣府「アルコール依存症に対する意識に関する世論調査」（2016）	